

令和5年度第3回静内警察署協議会議事概要

第1 開催日時  
令和5年12月15日（金）午後1時30分から午後3時00分までの間

第2 開催場所  
札幌方面静内警察署 会議室

第3 出席者

1 協議会委員（7人）

協議会会長	福原啓介					
協議会副会長	竹内幸子					
委員	戸澤ひとみ	徳橋かおる	山田久麿			
	馬場欣治	山本恵美子				

2 警察署職員（6人）

警察署長	千葉則幸
副署長	岩原勝樹
警務課長	渡辺昭一
刑事・生活安全課長	岡本伸
地域課長	近藤謙作
交通課長	山田宏樹

第4 開催状況

1 署長挨拶

本格的な降雪期を迎え、これからは悪天候による視界不良が原因の交通事故や路面凍結による交通事故など、冬型の交通事故の発生が増えてくる時期となります。

本日は、交通事故防止対策についてご意見を賜り、静内警察署の活動にいかしていきたいと思っておりますので忌憚のない意見をよろしくお願ひします。

2 会長挨拶

雪が降り一気に冬化粧となりました。

本日の諮問事項である交通事故防止対策についても直結してくると思っておりますので、皆さんから意見を出していただき、警察署の活動に役立ててもらいたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

3 業務説明

令和5年10月から12月までの活動状況

4 諮問事項

(1) テーマ

交通事故防止対策

(2) 警察からの説明

静内警察署における交通事故防止の取組状況等

(3) 協議

ア 委員

スリップや地形の未把握により交通事故が発生する場合もあると思っておりますが、滑り止めの砂の管理者はどこになりますか。

イ 警察

道路管理者となります。

町道であれば町役場、道道であれば道の建設管理部、国道であれば北海道開発局の開発建設部です。

ウ 委員

雪が降った時の対策は何かありますか。

エ 警察

各自治体では24時間体制で除雪の要請に対応しておりますので、連携を図り対応しております。

オ 委員

先程の警察署の説明で、ロービームとハイビームの違いについてお話がありましたが、ハイビームは交通事故防止に効果があると思っておりますし、最近はオートハイビーム搭載車が普及してきているので、これからはハイビームで走る車が増えてくると思っております。

カ 委員

以前はエアバックの搭載など車内に乗車している人を守るための対策を進めていきましたが、近年はカメラや踏み間違いを防止する装置の搭載など、歩行者を守る対策に重点を置いていると思っております。

- キ 警察  
タイヤの脱落事故が問題となっていますが、脱落防止に関するご意見はありますか。
- ク 委員  
タイヤの脱落防止には増し締めをすることが必要です。  
増し締めは、締めすぎるとナットが折れてしまうので、適正に締めることが大切です。
- ケ 委員  
小学校でボランティア活動をしています。下校時間帯はすでに真っ暗で、その中を生徒は下校しているので、反射材を普及させた方がいいと思います。  
また、保護者にも反射材着用の重要性を指導した方がいいと思います。
- コ 委員  
路面が悪い日は、特に危険な箇所を関係機関と連携してパトロールや広報を実施したり、注意喚起の看板を設置するなど、住民が危険と感じるような対策を講じた方がいいと思います。
- サ 委員  
パトロールしているパトカーをよく見かけます。  
今後も、天候が悪い時は赤色灯を点けてパトロールして注意喚起をしてもらいたい。
- シ 警察  
本日、委員の皆様からいただいたご意見は、今後の活動の参考とさせていただきます。

第5 運転者疑似体験集合教育装置体験

第6 次回開催予定  
令和6年3月中を予定

第7 閉会

令和 年 月 日

⑩

令和 年 月 日

⑩